audite

French Cello

aud 97.802

EAN: 4022143978028

4 0 2 2 1 4 3 9 7 8 0 2 8

Shimbun Akahata (01.05.2022)

Japanische Rezension siehe PDF!

»audite« Ludger Böckenhoff • Tel.: +49 (0)5231-870320 • Fax: +49 (0)5231-870321 • info@audite.de • www.audite.de

（第３種郵便物認可）

ＣＤセレクト

ポピュラー

赤尾 美香

「WE'VE BEEN GOING ABOUT THIS ALL WRONG」シャロン・ヴァン・エッテン（Jagjaguwar JAG395JCD、2750円）

♪ニュージャージー州出身のシンガー・ソングライターによる６作目。シャロンは「私たちがそれぞれの方法で経験したこの２年のジェットコースターのドキュメント。一緒に旅してもらいたい」と語り、オープニングからエモーショナルな歌唱が聴く者の胸を突く。私たちも、時を追って展開していくドキュメントの登場人物であることを実感する。ここにある10曲は彼女の歌であり私たちの歌でもあり、小さくても希望があることに安堵する。

ｂアバンギャルドなスポークン・ワーズで幕を開ける、ムーンライダーズ、11年ぶりの新作。人は自らが望みさえすれば、学び、挑戦し、進化を続けることができるのだと、中途半端に丸くならずとんがっていられるのだと、教えてくれる怪作。メンバー間の、あるいは外部参加者とのスマートな切磋琢磨や濃密な時間が生み出した、アイデア豊富かつ奔放なかっこいいロックに圧倒される。ユーモラスでシニカルなスパイスの効きも上々だ。

「It's the moooonriders」ムーンライダーズ（日本コロムビア COCB-54346、3300円）

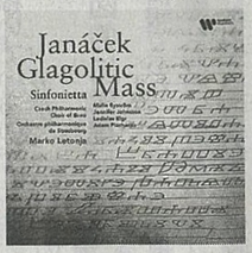
クラシック

大木 正純

フレンチ・チェロ／コッペイ（チェロ）、ネルソン指揮、ストラスブール・フィルハーモニー管弦楽団（アウディーテ　KKC6505、3300円）

♪フランスの実力派マルク・コッペイが母国19世紀後半の５曲を流麗闊達なチェロで楽しませてくれる。歌心に満ちたサン＝サーンスの協奏曲第１番、あまりにも名高い「白鳥」、悲哀の色に染まるフォーレの「エレジー」、絢爛たるラロの協奏曲といった名だたる傑作たちが並んで壮観。さらに冒頭にあるレオン・ボエルマンの「交響的変奏曲」がまたこよなく美しい、思わぬ掘り出しものだ。

ｂヤナーチェク晩年の傑作２曲を収録。古代教会スラヴ語のテキストによる大作「グラゴル・ミサ」は、名前はミサでも至極人間くさい、生々しいタッチの異色作だ。一見したところとっつきにくい音楽のようだが、聴き進むうちに独特としか言いようのない妖しい響きと生命力とに魅入られる聴き手も少なくないだろう。一方の「シンフォニエッタ」は対照的に広く知られた人気作。演奏は活力にあふれ、ヤナーチェクのユニークなオーケストラ・ワークがくっきりと浮かび上がる。



ヤナーチェク：グラゴル・ミサ、シンフォニエッタ／レトーニャ指揮、ストラスブール・フィルハーモニー管弦楽団ほか（ワーナー・クラシックス　9029628063、2690円）

»audite« Ludger Böckenhoff • Tel.: +49 (0)5231-870320 • Fax: +49 (0)5231-870321 • info@audite.de • www.audite.de